

れきし

てらす通信

《発行》
新座市立歴史民俗資料館
野火止二丁目9番37号
TEL:048-481-0177
FAX:048-481-0149
MAIL:rekimin@city.niiza.lg.jp

第1号（令和5年6月）

末永くよろしく申し上げます！！



大変長らくお待たせいたしました！

令和3年4月から、移転のための長い長いお休みに入った歴史民俗資料館・・・。

思い出深い片山の地を離れ、令和5年4月1日、保健センターとの複合施設として装いも新たに生まれ変わりました！

このたび「れきしてらす」の愛称を頂き、「歴史だより」も「れきしてらす通信」として再スタートする運びとなりました！

「古いものを新しく展示」をコンセプトとして、旧歴史民俗資料館から受け継いだ数々の食材（資料）を現代風にアレンジした新レシピ（展示）を多数取り揃え、「歴史」を「てらす」施設、そして訪れた皆様がゆったりとくつろぎながら「歴史」を知り、学びを深めることのできる「てらす」施設として、職員一同、皆様のお越しをお待ちしております。ぜひ足をお運びください！

祝・武蔵野線開業50周年！

「れきしてらす」が開館した今年4月1日は「武蔵野線開業50周年」の記念すべき日でもあります。

「れきしてらす」企画展第1弾は開館記念も兼ねた「W記念」として、武蔵野線開業50周年をテーマとしたパネル展を6月29日（木）まで開催しています。

長い歴史を物語る数々の貴重な写真を前に往時を懐かしむ方、昔と今の新座駅周辺の違いに驚きの声を上げる方・・・武蔵野線の思い出を書いていただくメッセージボードや、初の試みとなるお隣の清瀬市郷土博物館とのコラボ企画「組合せカード」は、鉄道ファンのみならず多くの方々に好評を博しています。



ここが凄いぞ「れきしてらす」！

旧歴史民俗資料館は、最初から資料館として設計されたため、昭和56年11月の開館当初は県内外の博物館や資料館の「お手本」と言われるほど斬新な建物でした。気づけば42年の歳月が流れ、県内で最も古い資料館となっていました……。

そして、新しく「れきしてらす」として開館した歴史民俗資料館は、新進気鋭の施設として注目されています。その「れきしてらす」の設備の一部をご紹介します。

凄いぞ！その1 明るく開放感のある展示室

天井高、実に4.2m！！

照明には資料と環境にやさしいLEDライトを配しており展示室は明るく開放感満点です！

また、資料を高さ約70cmの展示台に展示することにより、屈むことなく資料を見ることができると同時に、統一感のあるすっきりとしたデザインに仕上げました。



車いすのすれ違いを想定したゆとりのある動線も開放感に一役買っています。展示室中央の「アイランド展示」は、定期的に資料の入替えを行います。

どんな資料が展示されるかは来てみてのお楽しみ！！

凄いぞ！その2 来て見て触って！デジタルサイネージ！！



展示室の入口に65インチの大画面、室内に3機のデジタルサイネージを装備し、展示資料の歴史的背景など「学び」に役立つ情報を多数発信しています！

スマートフォン感覚で操作できる「れきしてらす」自慢の装備です！

時間が経つのを忘れてしまうぐらいコンテンツ満載のデジタルサイネージ、当館にお越しの際はどんどん触ってみてくださいね！！

「百聞は一見に如かず」この紙面だけではなく、是非とも実際に「れきしてらす」に足をお運びいただき、「来て」「見て」「知って」ください！

次回の「れきしてらす通信」は秋ごろ発行の予定です
最新情報は「広報にいざ」または新座市のホームページをご覧ください！

